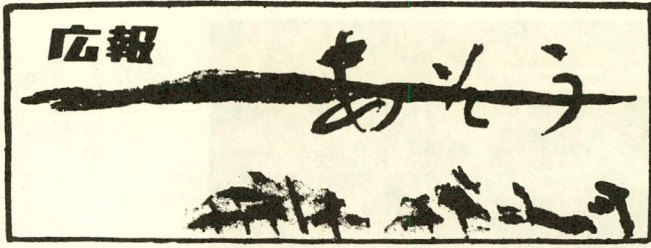


〈人口〉
男 8,948人
女 9,064人
計 18,012人
世帯数 4,121戸



発行所 麻生町1561-9 麻生町役場
 発行人 小沼幸蔵
 印刷所 麻生印刷

5月のメモ

- 1日〜2日 軽自動車税徴収
- 3日 憲法記念日
- 5日 こどもの日
- 10日 湖岸堤設置対策協議会
- 12日 臨時町議会
- 15日 商業統計調査打合せ会
- 16日 納税組合連合会役員会
- 21日 教育委員会、農業委員会総会
- 22日 小高小学校竣工式
- 25日 穀物改良協会総会
- 26日 太田小学校体育館竣工式
- 28日 例月出納検査
- 30日 母子保健教室
- 31日 固定資産税徴収

町の財政を公表

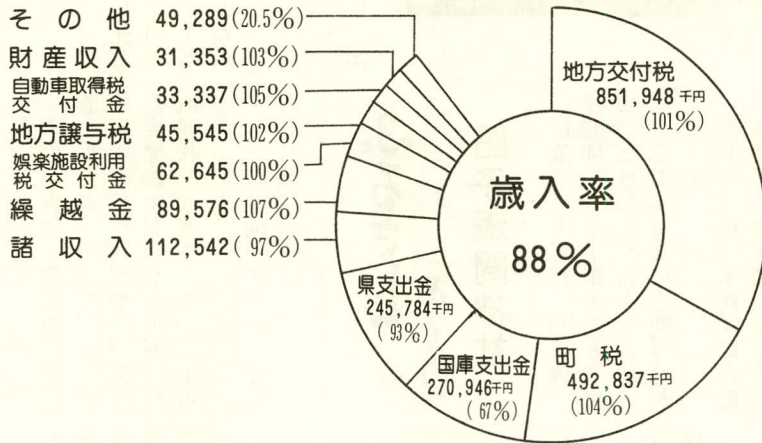
昭和五十三年三月末日までの麻生町財政事情についてお知らせします。
 昭和五十三年度は、五十二年度に引き続き国の経済も内外の要因が重なりあつて低成長を続けております。政府は需要の拡大をはかり、公共投資に力を入れて景気浮揚策をとっております。

当町においても投資的な経費に力を入れ、教育施設の拡充等を行ない、五十三年度の最終予算は、二十七億四千四百二十七万一千円となりました。主な事業として、児童の体力向上を目的に太田小学校および小高小学校にそれぞれ屋内体育館を新設しました。さらに、継続事業として実施しております小高小学校防音校舎も完成しました。また、都市公園整備事業である羽黒山の土地買収等も順調に進み、町民のいこいの場としての公園づくりに着実に進展を続けています。

(1) 一般会計

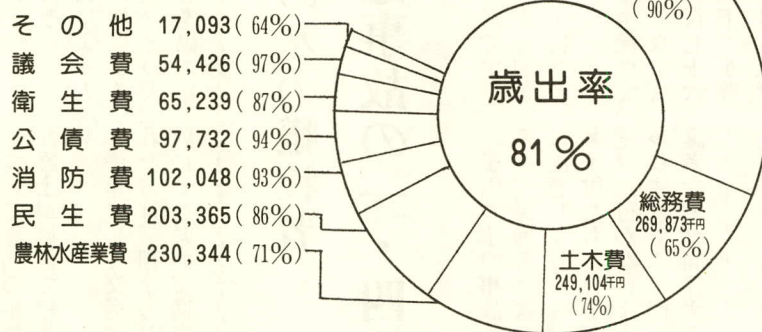
〔はいつたおかね〕

予算額 2,597,430 千円
 収入額 2,285,802



〔つかったおかね〕

予算額 2,597,430 千円
 支出額 2,108,969



(%) は予算額に対する執行率

(2) 特別会計

(%) は予算額に対する執行率

1. 国民健康保険

○歳入
 予算額 717,271 千円
 収入額 647,884 (90%)
 ○歳出
 予算額 717,271 千円
 支出額 526,791 (73%)

2. 白帆荘運営事業

○事業収益
 予算額 154,842 千円
 収入額 150,669 (97%)
 ○事業費用
 予算額 153,971 千円
 支出額 143,140 (93%)

5. 有価証券

電話債券	760 千円
勸業銀行証券	131

6. 町債

種類	未償還額
教育施設事業債	574,112 千円
公営住宅事業債	13,631
庁舎建設事業債	3,932
地方税減収補てん債	14,928
財政対策債	33,260
公民館建設事業債	170,170
水道取得事業債	3,120
道路整備事業債	85,720
白帆荘建設事業債	27,804
都市公園整備事業債	28,500
合計	955,177

(3) 町の財産

1. 土地及び建物

名称	土地	建物
庁舎	4,608m ²	1,933m ²
学校	201,047	23,390
公営住宅	16,682	3,410
その他の施設	49,465	6,043
山林	89,214	
畑	9,656	
その他の土地	17,807	
白帆荘	3,869	2,017
合計	392,348	36,793

2. 物品

品名	数量	単位
乗用車	1	台
広報車	5	
給食配送車	3	
大型ダンプ	2	
小型ダンプ	3	
タイヤショベル	1	
ブルドーザー	1	
グレーダー	1	
8トローラー	1	
小型ローラー	1	台
小型トラック	1	
小型トラクター	2	
軽自動車	2	
スプレーヤー	1	
ミキサー	1	
消防自動車	3	
ユービックス	1	

3. 出資による権利

名称	金額 (千円)
県農業信用協会出資金	940
県信用保証協会出資金	2,789
県漁業信用基金協会出資金	600
県文化福祉事業団出資金	143
国保診療報酬支払基金預託金	681
県家畜産物衛生指導協会出資金	220
県労働者信用基金協会出資金	460

4. 基金

名称	金額 (千円)
土地開発基金	101,009
国保診療報酬支払準備基金	49,826
国民年金印紙購入基金	6,000
財政調整基金	162,788

(4) 住民の税負担

税目	調定額	一世帯当り	
		調定額	収入済額
町民税	195,827 千円	47,508 円	45,842 円
固定資産税	190,905	46,314	45,555
軽自動車税	7,551	1,832	1,817
たばこ消費税	78,762	19,108	19,108
電気税	19,954	4,841	4,841
特別土地保有税	8,851	2,147	2,066
合計	501,849	121,749	119,229
国民健康保険税	250,292	78,981	77,924

中国から

養豚事業の視察団

農業経営の近代化をめざして養豚事業にとりくんでいる本町の畜産団地を、中国北方工業公司鑄鍛技術考察団(団長 韓懷志男氏外十二名)の一行が視察に訪れました。この一行は、さる四月十七

日午後一時三十分麻生町役場を訪れ、担当者から事業のあらましを聞いたあと、大字井にある畜産団地を小沼町長の案内で視察をしました。畜産団地は八万五千平方メートルの総面積に六団地を有し、二十戸の養豚事業家が常時八千八百九十頭の肥育豚を飼育しているものです。恵まれた環境の中で近代的な施設と高度な養豚技術をもつて経営しているこの実態を



小沼町長と握手する韓懷団長

(善) (意)

善意銀行へ次の方が預託されました。
 石神の新堀行正さんは、竹ほうき二十本。
 水郷麻生盆裁会は五千元。
 ゴルフ麻生会は、五万円。
 麻生の石田 武さんは、古宿老人クラブへ一万円。
 橋門の茂木隆保さんは、橋門老人クラブへ一万円。
 宇崎の田谷 旭さんは、宇崎老人クラブ長寿会へ三千元。
 宇崎の新堀金作さんは、宇崎老人クラブ長寿会へ二万円。
 大和第二小学校児童会は、一円玉募金七千九百九十八円。
 麻生町青少年クラブ連絡協議会は、チャリティーバザーの収益金より二万円。
 麻生小学校の永峰隆子さんは「お父さんやお母さんはいない子供たち」と八千五百円。
 麻生の深沢 明さんは、蒲縄老人クラブへ二万円。
 麻生の谷田川ギンさんは、新原老人クラブへ一万円。
 麻生中学校生徒会は、一万八千一百円。
 昭和九年行方小学校尋常科卒業生は、母校へマテパシ一本。

大切な松を守るために

皆さん、すでにご承知のように、昨年の夏以降、各地で山の松を初め庭木や公園などにある松が次々と枯れてしまっていました。

これは大部分が松くい虫(マツノザイセンチュウ)によるものです。

そこで、この松くい虫を退治するため、昨年の夏以降、県や市町村等が一体となって伐倒駆除事業を進めてきました。この伐倒駆除事業は、松くい虫によってすでに枯れてしまった松を切り倒し、葉をかけた材の中に入っている松くい虫の幼虫を殺してしまう方法です。

しかし、これだけでは健康で青々としたマツを松くい虫から守ることはできません。ことしも松くい虫の発生時期になってきましたので、貴重な緑の資源を守るため、県ではヘリコプターによる森林の薬剤散布を実施しますが、皆さんも自分の大切な庭木の松を守るために予防措置として、次のことをぜひ実行してください。

一、薬剤による予防
松くい虫の発生する時期(六月から七月)にかけて有機りん系薬剤(スミチオン等)を三回(六月五日頃、二十五日頃、七月十五日頃)ぐらい噴霧機などで枝葉全体に充分かかるよう散布する。この場合、他の樹木(とくにカエデ類や五葉松)に薬剤がかからないように注意してください。

二、薬剤を使わない予防
これは、小さい庭木にはよい方法と思われる。樹全体

に網(寒冷紗等)をかぶせる。松くい虫(マツノザイセンチュウ)のいったマツは、ほとんど助かりませんので、早めに予防措置をして松くい虫から守ってあげましょう。

六月一日は 商業統計調査 商業実態基本調査

昭和五十四年商業統計調査および商業実態基本調査を六月一日現在で全国いっせいに実施します。

この調査は、商業の国勢調査といわれるもので、わが国の商店の分布状況や販売活動の実態および商品の全国的な流通状況などを明らかにするためおこなうものです。調査員が伺いますので、協力をお願いします。

ふるさとめぐり

船子浅間神社

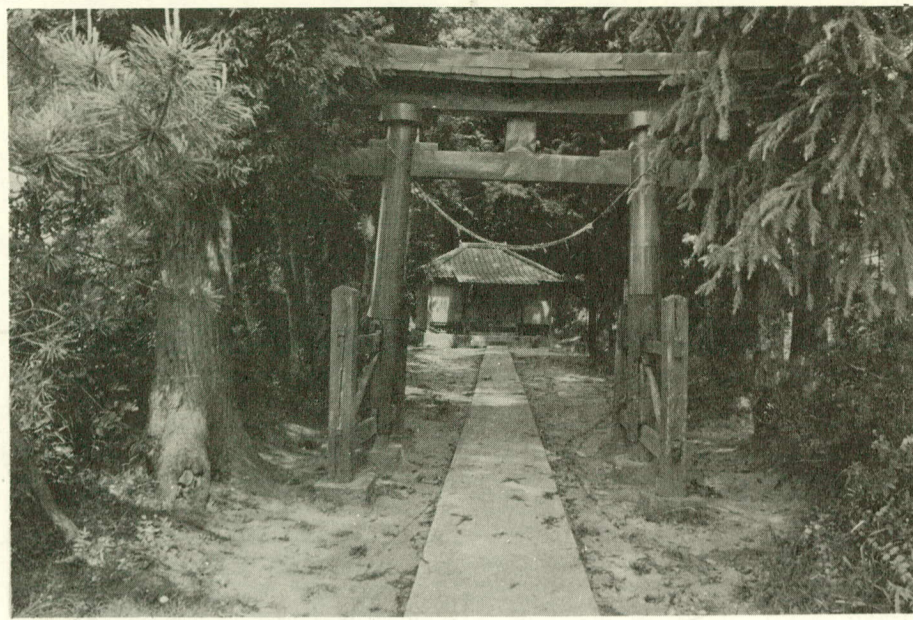
国道三五五号線のバス停、浅間神社下で下車すると北東にひととき高く古木の森があり、このふもとに浅間神社があります。

浅間神社は、木花咲耶姫命を祭神として大同二年(八〇七)に創立されたものと伝えられています。

社の裏から狭い急な山道を登っていくと、そのいただきに宝永八年(一七一)三月遷祀した富士山大権現の石塔があります。ここからの霞ヶ浦の眺望はすばらしく、はるか富士山も見える聖地です。

さらにこの奥には、下河辺義親が享禄三年(一五三〇)下総国から移り住んだ船子城が続いています。

浅間神社は、下河辺氏代々の守護神として崇敬されています。



船子の浅間神社

麻の広場

人権法律相談は

お気軽に

あなたの人権を守る、法務局・人権擁護委員による人権法律相談を次の要領でおこないます。相談の内容については、すべて秘密に扱い、無料です。お気軽にご利用ください。

○日時 六月七日(水)午前
十時から午後三時まで

○場所 麻生町公民館

○相談内容 公務員による人権侵害、家族間その他による酷使虐待、私的制裁などの人身の自由侵害、名誉を傷つけ

6月~8月 子供の水の犠牲者 交通事故の一・四倍

水が恋しくなる六月です。毎年このころになると、悲惨な子供の水の事故が目立つて増えます。

水の事故は、一年中起きていくのですが、とくに六月八月が多くなり、昨年は五百七十六人の子供(中学生以下)が尊い命を落としています。これは、同じ六月八月の子供の交通事故死者四百十四人を百六十二人も上回っており、いかに「水の犠牲者」が多いかを物語っています。

子供たちの水の事故は、ほんのちよつとしたスキに起こります。例えば、親が立ち話に夢中になっている間に、防水用にはまっていたと

いうようなケースもあります。

とくに、幼児の場合は自分で「危険」かどうか判断できませんので、保護者は子供の身になって、安全を考えてあげてください。

子供を水の事故から守るために、保護者は次のような点に注意しましょう。

信用をおとされたとき、借地借家の強制退去、住居への不法侵入、騒音や悪臭などの公害、結婚、離婚、辞職労働などの強制、その他不動産の売買、賃貸借、登記、戸籍、相続、交通事故などの法律問題

交通事相相談所の ご利用を

茨城県交通事故相談所が左記の場所に設置され、交通事故に起因するいろいろな問題について専門の相談員および弁護士が無料で相談に応じています。

不幸にして交通事故にあわれた方は、相手方と交渉する前にぜひ県の交通事故相談所へのご協力ください。

茨城県交通事故相談所が左記の場所に設置され、交通事故に起因するいろいろな問題について専門の相談員および弁護士が無料で相談に応じています。

不幸にして交通事故にあわれた方は、相手方と交渉する前にぜひ県の交通事故相談所へのご協力ください。

子供を水の事故から守るために、保護者は次のような点に注意しましょう。

●子供たちだけで、水泳や水遊びに行かないようにふだんから注意する。行くときは保護者などが同伴する。

●雨降りの後など川や用水が増水しているときは、子供を近づけないよう、とくに注意する。

●イカダ遊びや、危険な水辺で遊んでいる子を見かけたら声をかけ、安全な場所まで遊ぶよう注意する。

●家の近くのため池や用水池堀などがあって、サクとかフタがなく危険な状態のまま放置されているときは、所有者に申し込めて早く処置してもらおう。

●新鮮な空気を胸いっぱい吸って、命の洗たくを……。

しかし、せつかく訪れた山や海がゴミだらけ、空気がきれいでは、楽しい気持ちもすっきりさめてしまいます。

ふだん家庭のなかではきれいな好きでも、いったん外に出ると、とたんにゴミ無関心派になってしまふ人は、意外と多いものです。私一人ぐらいは——という気持ちから、ついでにゴミをポイと捨ててしまふ。それが積み重なると、ゴミの山……ということになるのです。

自然はみんなのもの

憩いの場を 「川」から 守ろう

たまの休日、家族そろって大自然のなかで一家団らん、心のはずむ楽しいひと時です。おべんとうはおいしいし、

俳句

豆の花浜風つき砂島
花島のうねりくへて臙なり
豆の花咲きて明るき背戸島

短歌

入学の孫に付添う娘の晴着
日差およべる縁に縫いつぐ
北風がもの言う如き午後的小屋
排卵の公魚炉火に痛々し
春雨に濡れて光れる木々の芽を
ながめつつ受診の順番を待つ

俚謡

古いアルバム また見て浮ぶ
散った予科練 友の顔
可愛いしぐさを カメラに収め
貼ったアルバム 親心
夫のアルバム 九段の桜
開く頃かや 夢便り

おみやみ申し上げます

死亡者 年令 世帯主 住所
小吹 仁58つ ね 麻生
大橋庄三郎61よ し
坂本 サノ70惣 吉
米川 ノブ77治 朗 矢 幡
小貫 辰雄63平 太
新堀 長輝37 彰
荒張日出子40竹 松
今泉 カ子79三 男 宇 崎
横山 鶴造75吉 徳 青 沼
金田 源吉76幸 恵 四 鹿
高野 ふみ79嘉 雄
内田 この93二 雄
坂本 朝二77忠 孝 杉 平
細内 寿明14秋 史 於 下
栗原 勉19 清 船 子
武田 照子65文 夫 五 町 田
小田 儀郎53忠 勝 井 島 並
出沼 祐子 千 里
北沢 暁子 幸 雄
宮崎 敬二 源 二 蔵 川

戸籍の窓口

あめでございませう

出生者 世帯主 住所
深沢 一寿 せつ 麻 生
宮川 早苗 孝 瑠 〃
出沼 祐子 千 里 〃
北沢 暁子 幸 雄 〃
宮崎 敬二 源 二 蔵 川